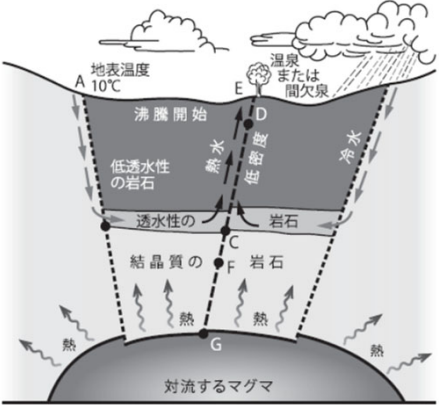
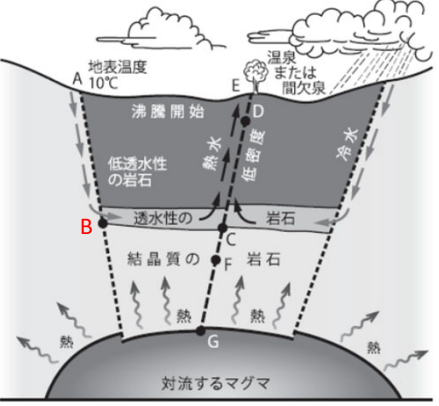


節	ページ	箇所	誤 (現行の表現)	正 (修正案)
Q5	22	本文 1行目	" (特に経度) "	" (特に 緯度) "
Q5	25	図5-4	<p>右図「B」が抜けている。</p> 	<p>「B」を加筆</p> 
Q6	27	下から 7行目	<p>”図6-3は、地球の地殻からマントル上部までの範囲の模式的な断面を表しています。火山ができる場所は①中央海嶺、②プレートの沈み込み帯、③大陸性リフトバレーの三つに大きく分類することができます。”</p>	<p>”図6-3は、地球の地殻からマントル上部までの範囲の模式的な断面を表しています。プレート運動に関連して火山ができる場所は①中央海嶺、②プレートの沈み込み帯、③大陸性リフトバレーの三つに大きく分類することができます^{注)}。</p> <p>注) プレート運動に関連しない火山として、ハワイのようなホットスポットにできる火山がある。”</p>
Q20	96	本文 2行目	<p>”多くの地熱発電所は複合火山……で開発されており、富士山のような成層火山……で開発されたことはありません。”</p>	<p>”多くの地熱発電所は複合火山……で開発されており、富士山のような成層火山……で開発されたことはありません^{注)}。</p> <p>注) 火山の形状による分類では、複合火山の対義語は単式火山だが、あまり一般的な語ではないこと、同一の噴火口から噴火を繰り返す成層火山は多くが単式火山であることから、ここでは「複合火山⇔成層火山」とした。”</p>
Q27	127	下から 6行目	<p>合計は約5.5万kWにすぎず、</p>	<p>合計は約55万kWにすぎず、</p>
T6	228	下から 3行目	<p>”できるだけ大きい発電出力を目指し、2009年に調査井の噴気試験を行うと、蒸気の噴出が確認できました(図2)。”</p>	<p>”できるだけ大きい発電出力を目指し、2010年に調査井の噴気試験を行うと、蒸気の噴出が確認できました(図2)。”</p>